1. 人口分布
2. 50年間の人口増減

1. 人口分布

わが国の人口は、1970年10月1日現在1億467万人で、中国7.7億人、インド5.5億人、ソビエト連邦2.4億人、アメリカ合衆国2.0億人、インドネシア1.2億人についで世界で6番目である。

わが国の人口は都市に著しく集中しており、東京都区部836万人、大阪市298万人をはじめとして人口100万人以上の市は8市、10万人以上の市は150市ある。人口階級別による市町村人口の割合の推移をみると、より大きな都市への人口比重がますます高くなる傾向を示す。また、市街地（人口集中地区）人口は総人口の54%を占めているが、市街地面積は全国土の僅か2.6%である。

わが国の人口1億467万人のうち、外国人は約60万人で、韓国人、朝鮮人52万人、中国人4.4万人、アメリカ人1.6万人、その他の外国人2.1万人となっている。

〔凡例と作図の要点〕

本図は昭和45年10月1日現在の国勢調査の常住人口から作図した。

国勢調査は、歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島および東経131°52′30″、北緯37°15′にある竹島を除くわが国の全域を対象として調査してある。常住人口とはこの範囲に常住する人のうち、外国の外交団・領事団（随員および家族を含む）および外国軍隊の軍人・軍属（家族を含む）を除いたものである。なお常住とは3ヶ月以上当該地域に住むか、または住もうとしている状態をいう。

人口集中地区とは国勢調査において設定された統計上の単位地域で、人口密度4,000人/km²以上でしかもその人口が5,000人以上を構成する地域をいい、市街地と呼ばれている範囲とほぼ一致する。

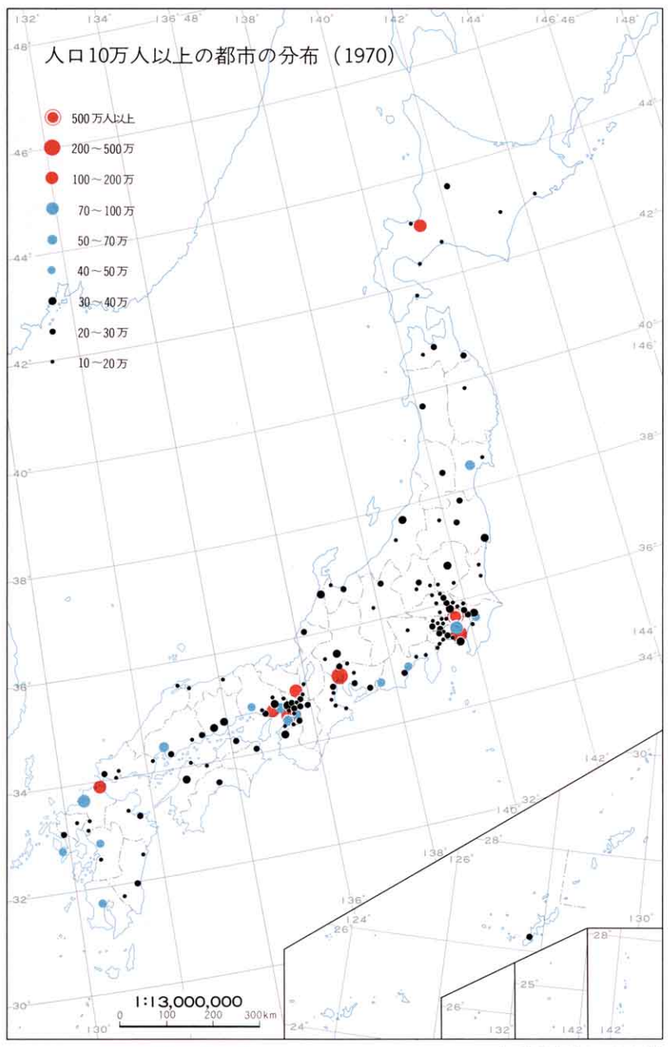
本図の作図にあたって次の点に注意した。

1．各市町村ごとに人口を正しく表わせるように考慮し、人口集中地区人口を除いた人口を各市町村ごとに算出して、その人口に応じた数のドット（1点1,000人、1,000人未満は500人を基準にして切り上げ、切り捨て）を当該市町村域に配置した。

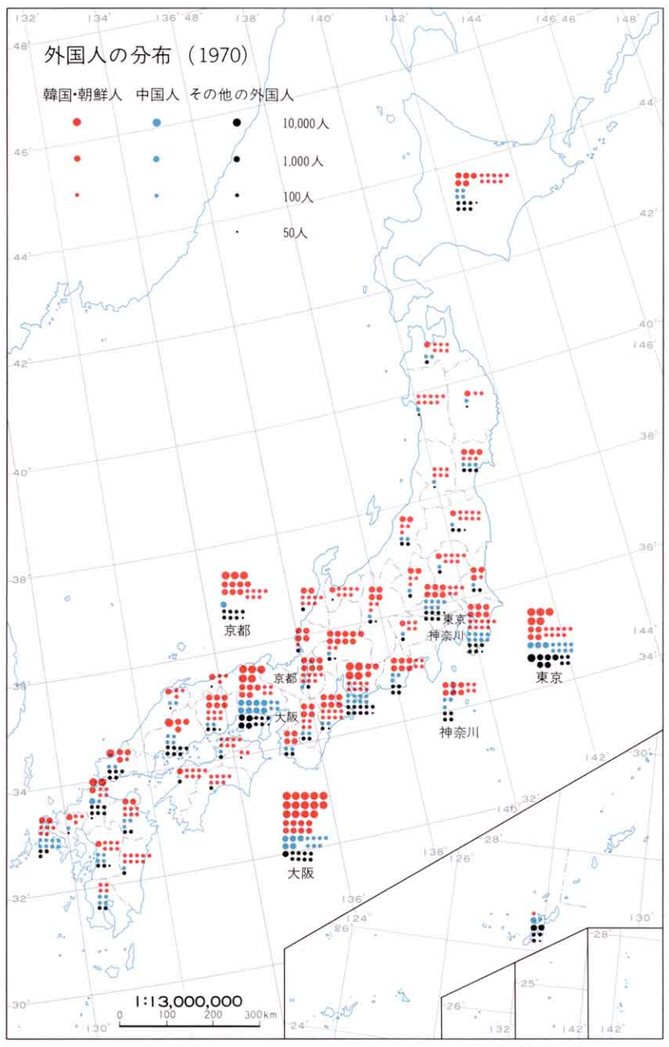
2．ドットは、5万分1地形図、20万分1地勢図などをもちい、集落の大小、集落の粗密の状況などを考慮して配置した。また、昭和40年国勢調査によって作成された100万分1人口分布図（総理府統計局）のドットの配置状況もあわせて参考にした。

〔資料〕

1．総理府統計局，昭和45年国勢調査報告
2．国土地理院，120万分1市区町村界素図，昭和45年10月1日現在
3．総理府統計局，昭和40年国勢調査市区町村別人口分布図
4．United Nations, Demographic Yearbook, 1973



（国勢調査報告から作成）



（国勢調査報告から作成）

2. 50年間の人口増減

わが国の人口は、1872年に3500万人にすぎなかったが、1920年に5000万人をこえ、1970年に1億467万人に達し、最近50年間に約2倍になった。

人口増加率は1920～1925年の間は6.8%、1925～1930年の間は7.9%であった。その後外地への人口流出が続き増加率は低下した。第2次世界大戦の終結で外地からの引揚げとベビーブームがあり、1945～1950年の間は著しく高い増加率を示したが、1960年以後の5年間増加率は5%台におちついている。

第2次世界大戦中の疎開によって、人口は1940～1945年の間に東京都で53%、大阪府で42%減少したが他の県ではすべて増加した。その後、都市への集中がはじまり、1965～1970年の人口増加県は27県、減少県は20県となった。人口増加県は埼玉県28.2%、千葉県24.6%、神奈川県23.5%、大阪府14.5%、奈良県12.6%、愛知県12.2%などが高い率を示し、減少県は鹿児島県6.7%、島根県5.8%、長崎県4.3%、熊本県4.0%などが高い率を示している。

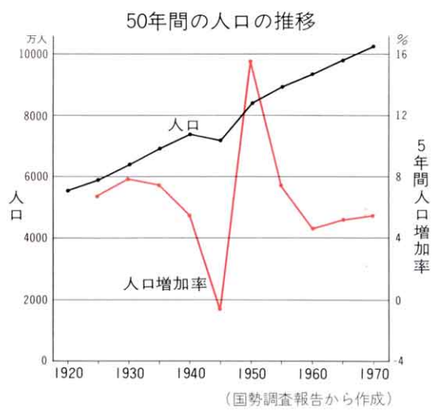
〔凡例と作図の要点〕

1920～1930と表記したのは、1920年の人口と1930年の人口をもちい、10年間の増減を図にしたものである。

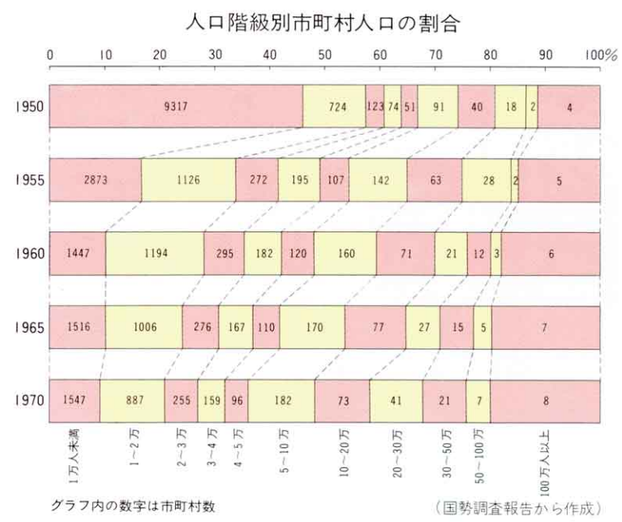
増加数、減少数の表示は、記号の最小単位の5,000人（10年間の増減）、20,000人（50年間の増減）の半数を基準にして切り上げ、切り捨てをおこなった。

〔資料〕

1．総理府統計局，昭和45年国勢調査報告



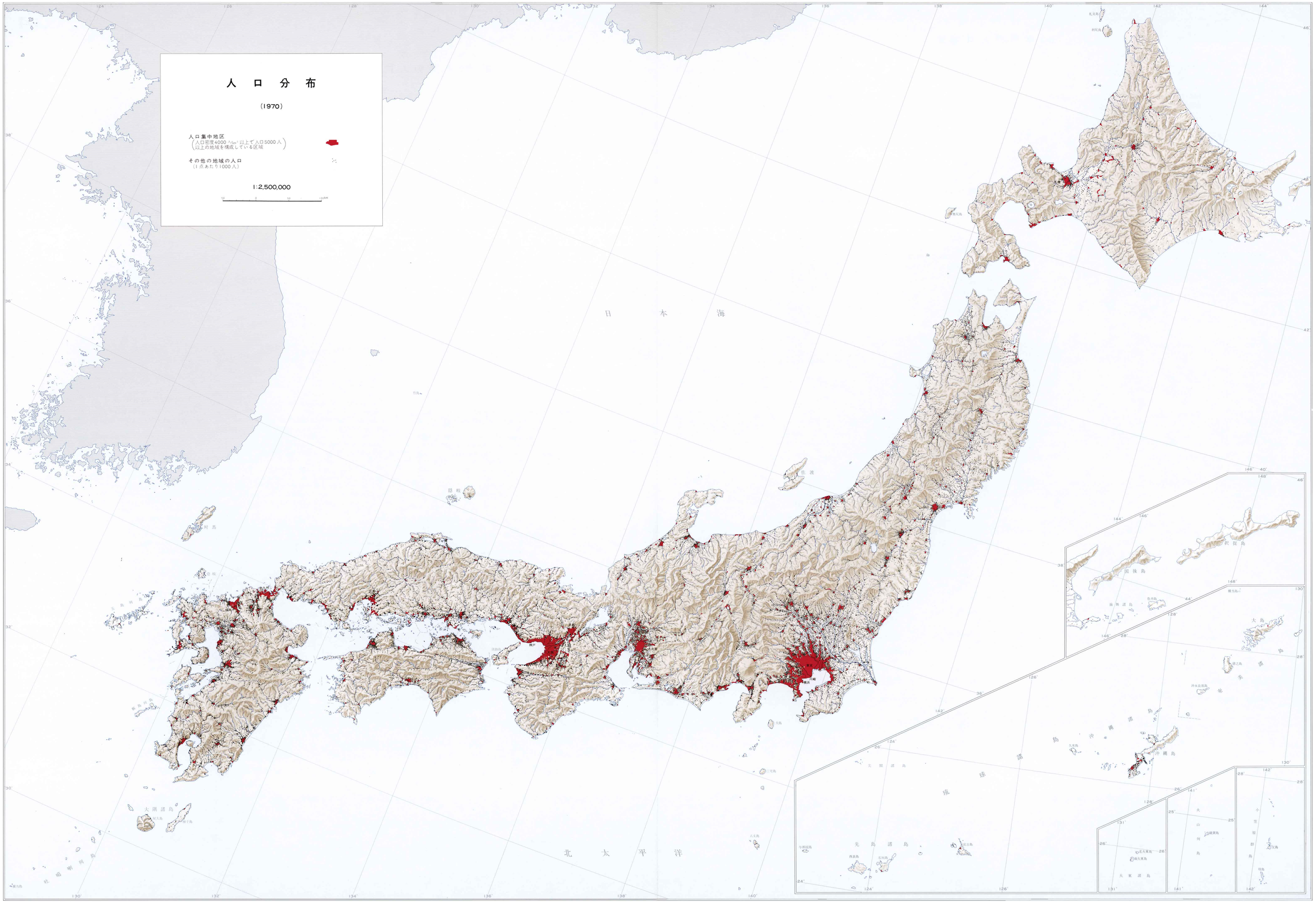
（国勢調査報告から作成）



グラフ内の数字は市町村数

（国勢調査報告から作成）

24.1


人 口 分 布
(1970)
人口集中地区
(人口密度4000人/km² 以上で人口5000人以上の地域を構成している区域)
その他の地域の人口
(1点あたり1000人)
1:2,500,000
日 本 海
北 太 平 洋
琉 球 諸 島
先 島 諸 島
沖 縄 諸 島
大 東 諸 島
大 隅 諸 島
択 捉 島
国 後 島
大 島
小 笠 原 諸 島

24.2

50 年 間 の 人 口 増 減

（1920～1970）

50年間の増減

増加率
- 200%以上
- 160%以上 200%未満
- 120%以上 160%未満
- 80%以上 120%未満
- 60%以上 80%未満
- 40%以上 60%未満
- 20%以上 40%未満
- 20%未満

増加数
- 2,000,000人
- 200,000
- 20,000

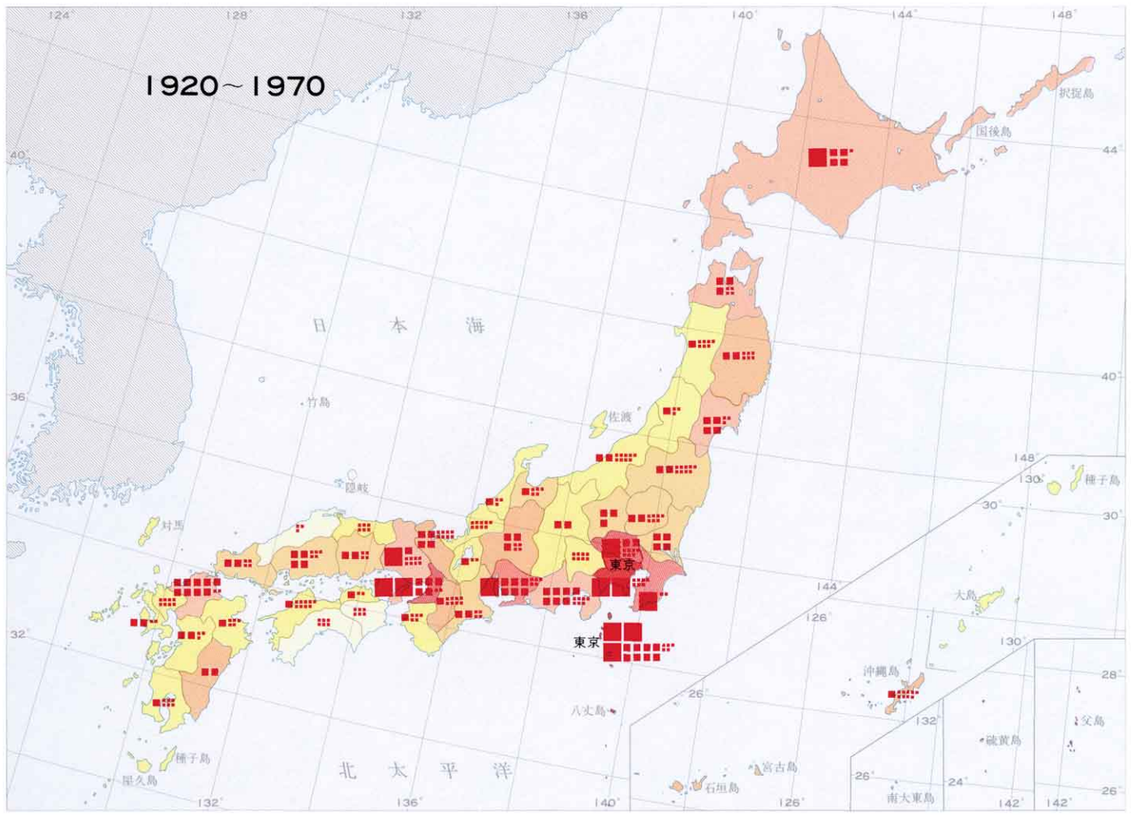
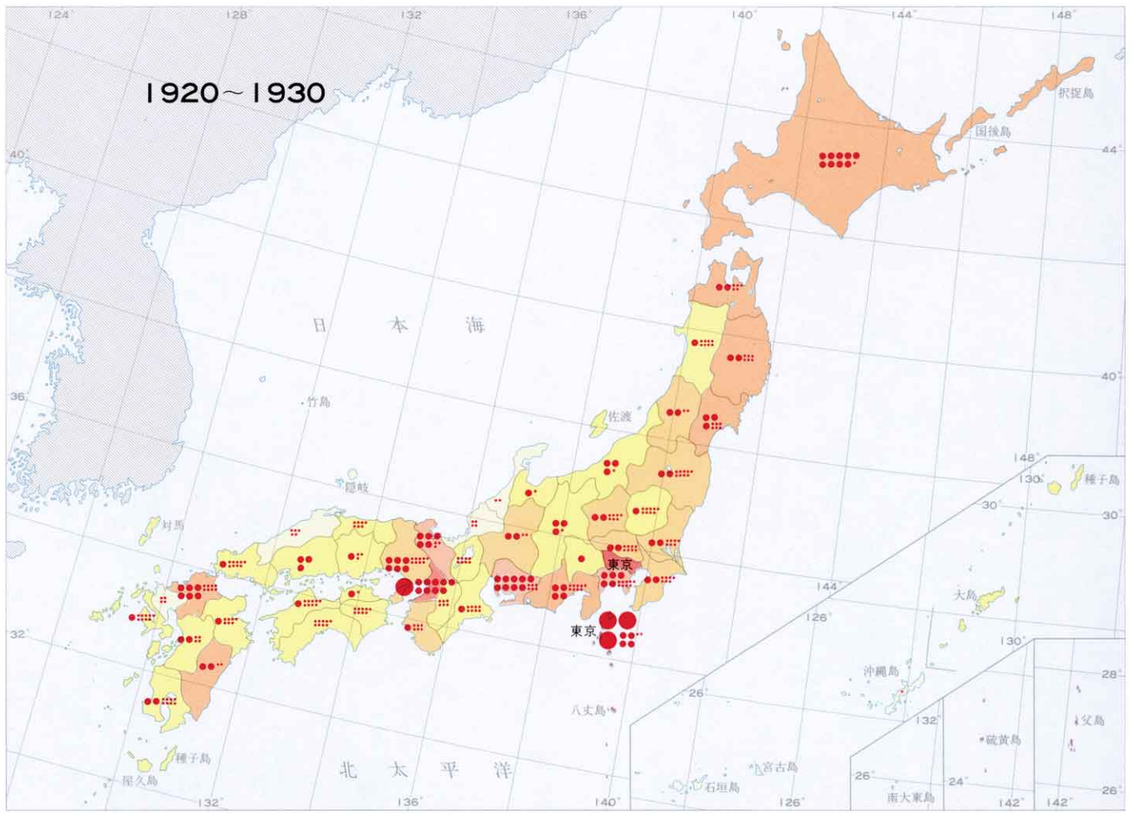
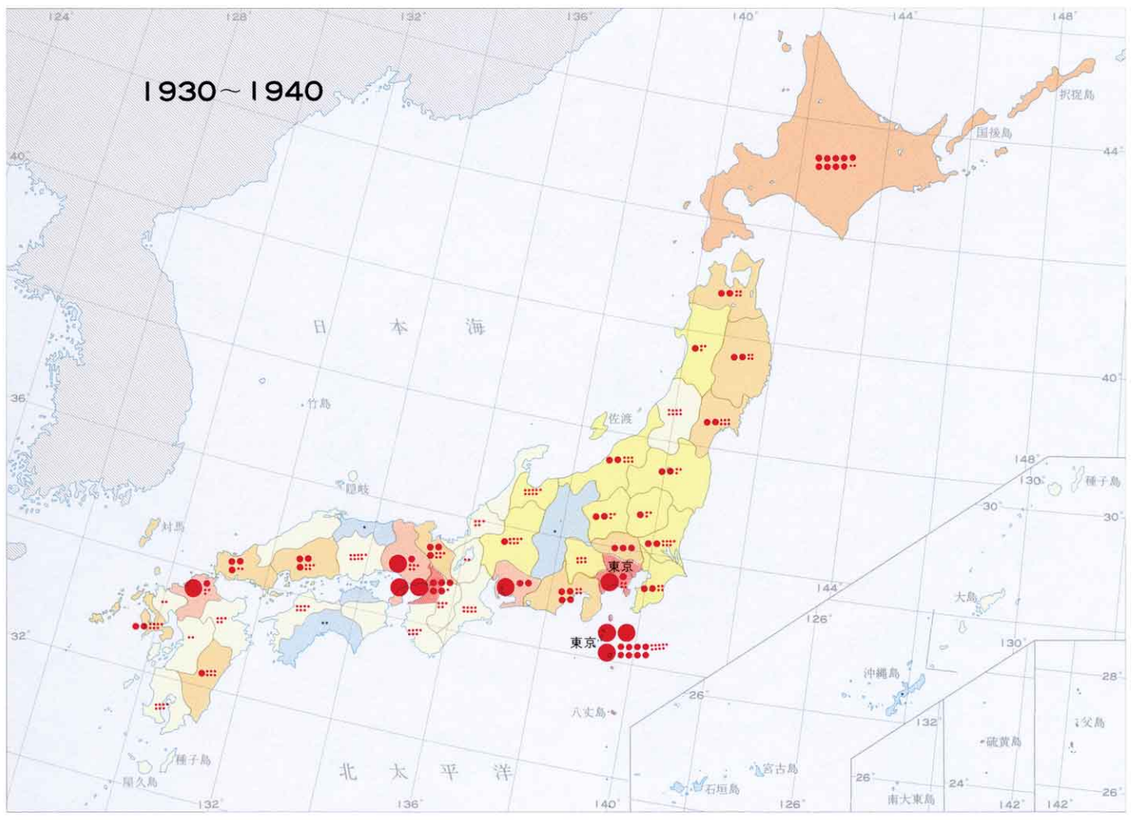
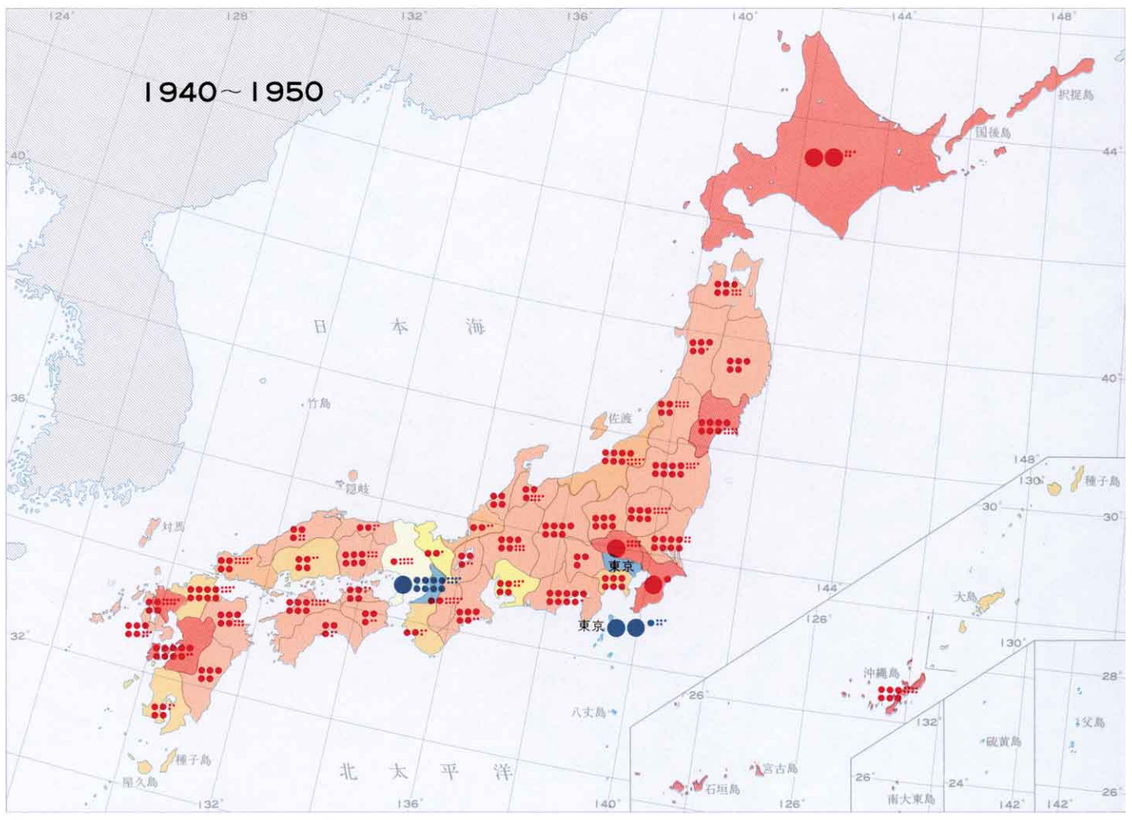
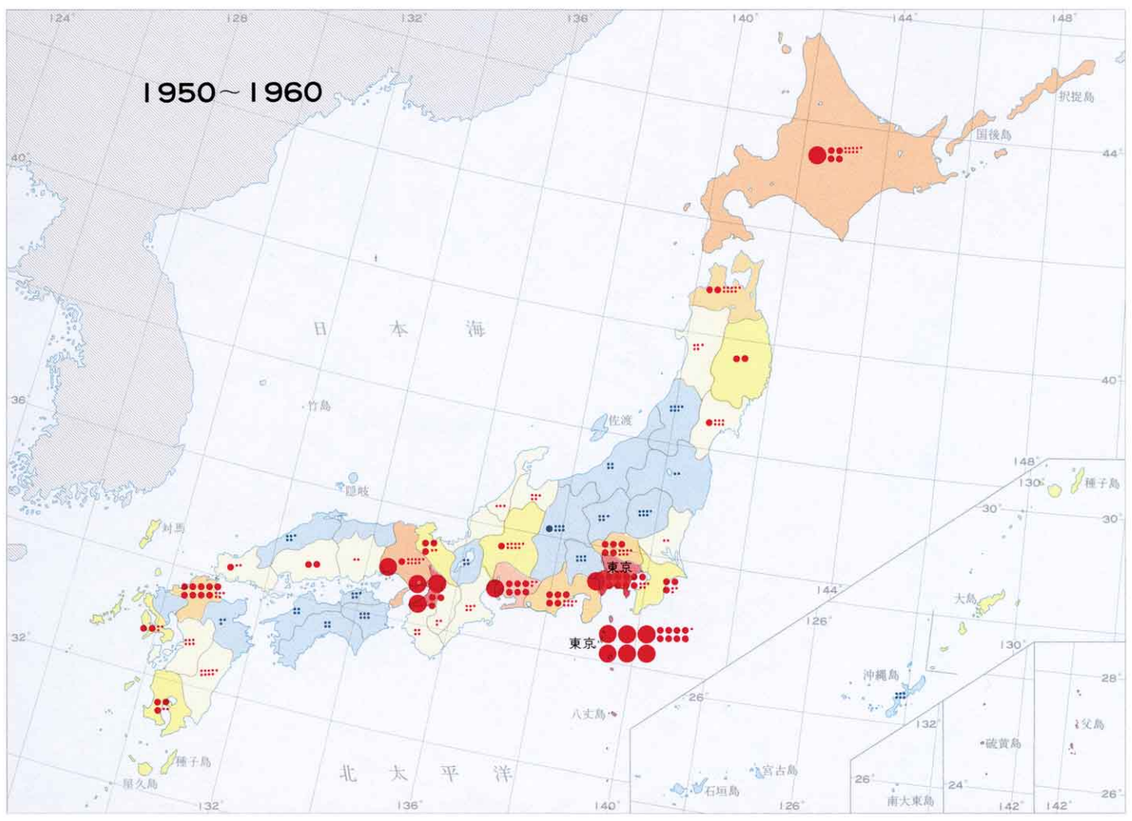
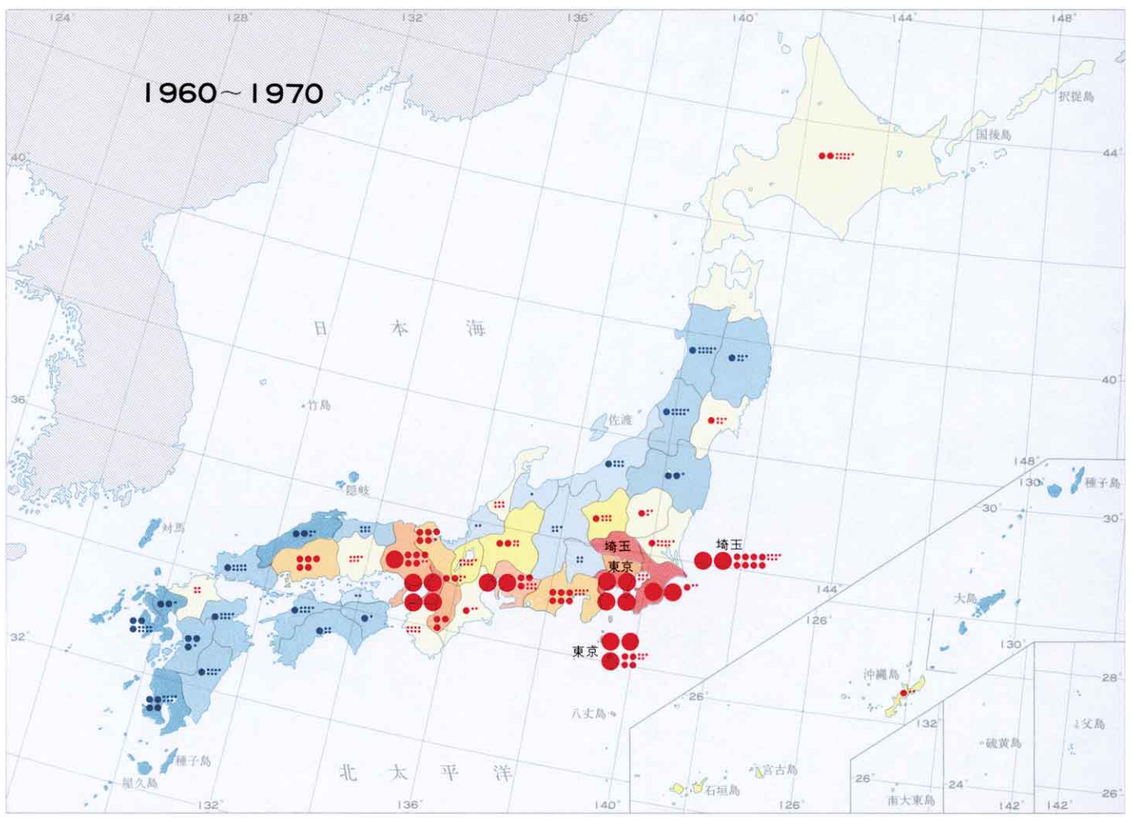
10年間ごとの増減

増加率
- 40%以上
- 30%以上 40%未満
- 20%以上 30%未満
- 15%以上 20%未満
- 10%以上 15%未満
- 5%以上 10%未満
- 0%以上 5%未満

減少率
- 5%未満
- 5%以上 10%未満
- 10%以上

増加数
- 500,000人
- 50,000
- 5,000

減少数
- 500,000人
- 50,000
- 5,000

1:12,000,000

100 0 100 200 300 400 500km